

政策シート 政策名 05 都心の都市機能の強化

予算費目名 01 市街地整備事業費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 03 市民が集う活力ある都市づくり

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

○高次な都市機能の集積を図るとともに、商業、医療・福祉施設、子育て支援施設などの立地を促進することにより都心居住を推進する。

(3) 関連するSDGsのゴール

①都市									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	2,646,100	110,000				
決算	3,059,275	78,340	56,555			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	27,300	27,300	21,700	13,300	13,300	
年間経費(予算又は決算+A+B)	3,086,575	105,640	78,255	13,300	13,300	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
旭・板屋A地区の進捗率(%)	%	目標	100	100	100			
		実績	97	99	100			
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

○高次な都市機能の集積を図るとともに、商業、医療・福祉施設、子育て支援施設などの立地を促進することにより都心居住を推進する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 達成
○旭・板屋地区A-1地区、A-2地区の市街地再開発事業が完了し、関連公共施設も整備されたことにより、都心居住の推進が図られた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	市街地再開発組合支援事業	○	○		13,300		1.9				
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					13,300		1.9				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 市街地再開発組合支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・旭・板屋A地区第一種市街地再開発支援事業 土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図り、多様な都市機能を持つ拠点を整備し、中心市街地の活性化に寄与することを目的とするもの。
・常盤町西街区優良建築物等整備支援事業 土地利用の高度化、市街地環境の向上及び都心居住の推進を図り、中心市街地の活性化に寄与することを目的とするもの。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2015	2021	一般会計	自治事務(その他)	都市再開発法 浜松市市街地再開発事業等補助金交付要綱

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(3)ア	Ⅲ-4(1)ア			

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市									
事業とゴールの 関連性	市街地再開発事業の実施により、都市機能の高度化、防災性の向上、都市拠点の形成、都心居住の促進を図ることで、包括的かつ持続可能な都市化を促進する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	2,646,100	110,000				
	決算	3,059,275	78,340	56,555			
	国・県支出	1,499,387					
	市債	1,188,300	41,300	53,700			
	その他		2,174				
	一般財源 一般会計繰入金	371,588	34,866	2,855			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		27,300	27,300	21,700	13,300	13,300	
人工	正規	3.9	3.9	3.1	1.9	1.9	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		3,086,575	105,640	78,255	13,300	13,300	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
旭・板屋A地区の進捗率(%)		目標	100	100	100			
		実績	97	99	100			
中心市街地の居住者人口(人)		目標	13,100	12,300	12,550	12,800	13,050	13,300
		実績	11,974	12,157	12,368	12,487		
居住誘導区域内人口密度(人/ha)	Ⅲ-4(1) ア	目標	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5
		実績	61.2	61.1	61.0	60.7		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

・旭・板屋A-1地区
地区面積 A=2,186㎡ 建築敷地面積 A=1,136㎡ 建物延床面積 A=8,155㎡
構造規模 鉄骨造 地上13階/地下1階
主な用途 ホテル、店舗、業務施設、駐車場(42台)

・旭・板屋A-2地区
地区面積 A=7,757㎡ 建築敷地面積 A=3,576㎡ 建物延床面積 A=38,274㎡
構造規模 RC造 地上30階
主な用途 住宅(246戸)、店舗、業務施設、駐車場(231台)

旭・板屋A地区について、関連公共施設整備等を実施。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度 達成
・旭・板屋A地区について、関連公共施設整備等を行ったことにより、歩道機能の増進と歩行空間における快適性の向上が図られた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)